

◆ 第61回 近畿高等学校弓道大会

優勝おめでとう！！

男子団体 高田商業

女子個人 吉田 理映子さん

11月1・2日、大阪城公園弓道場に於いて、近畿高等学校弓道大会が行われた。個人戦は男女各60名、団体戦は男女各20校が参加した。奈良県勢の結果は次の通り。

【個人戦】

入賞者

- ▽男子 2位 池田 泰斗 (西の京)
- 5位 漆畑 将大 (西の京)
- ▽女子 1位 吉田 理映子 (高田商業)

他予選通過者

- 男子：楠田 雄史 (畝傍) 中川 雄貴 (橿原)
- 湧谷 哲也 (畝傍) 表谷 知哉 (高田商業)
- 女子：花岡 江里奈 (郡山) 北野 智也 (王寺工業)

【団体戦】

入賞校

- ▽男子 1位 高田商業高校
(大塩真央 上島正栄 生駒章人 石本将也)
- ▽女子 3位 郡山高校
(濱田萌子 阿部夏子 吉原美智子 花岡江里奈)

他予選通過

- 男子：法隆寺国際高校
(竹森健吾 長谷川雄太 森下大和 吉見旭人)
- 女子：奈良大附属高校
(峠谷亜由 北村友里 堀井菜美 竹下実沙)

=====

◆ 近畿選手権 山口 愉佳子さん優勝

10月19日に京都、武道センターで開催された近畿弓道選手権大会では、今年も奈良県勢の女子が大健闘しました。

- 【団体 女子】 3位 奈良Iチーム
(山口 愉佳子、西田 ゆり、西口 亜希)
- 【個人 女子】 優勝 山口 愉佳子
- 3位 平井 摂子
- 5位 明崎 静代
- 【個人 男子】 3位 西川 義春

◆ 第27回全国高等学校弓道選抜大会 兼

第16回近畿高等学校弓道選抜大会 県予選会

(11月16日(日) 橿原公苑弓道場)
これに先立って11月9日に開催された一次予選通過者男子27名、女子37名が参加

【個人戦】

準決勝(4射3中通過)：男子 10名、女子6名

決勝射詰め

- ▽男子
- ①湧谷 哲也 (畝傍) ②竹森 健吾 (法隆寺国際)
- ③池田 泰斗 (西の京) ④遠山 雄人 (橿原) ⑤大塩真央 (高田商業) ⑥若松 佑次 (大宇陀)
- ▽女子
- ① 鶴留 彩花 (橿原) ②木尾 真奈 (橿原) ③塩野 有紗 (平城) ④石川 美佐希 (橿原) ⑤福西 真歩 (橿原)
- ⑥小中 麻央美 (郡山)

【団体戦】 (決勝リーグ戦)

- ▽男子
- ① 畝傍 (北村・辻・湧谷・榊本) 3勝2敗34中
- ② 高田商業 (大塩・上島・石本・生駒) 3勝2敗33中
- ③ 奈良高専 (辰巳・駒谷・岡本・河合) 3勝2敗32中
- ④ 郡山 (香川・森井・三宅・大庭) 3勝2敗27中
- ⑤ 法隆寺国際 (竹森・河野・森下・伊藤) 2勝3敗36中
- ⑥ 磯城野 (喜田・木村・河原・松實) 1勝4敗30中
- ▽女子
- ① 橿原 (石川・福西・鶴留・木尾) 4勝1敗46中
- ② 高田商業 (吉田理・吉田和・弥富・江場) 4勝1敗40中
- ③ 平城 (坪内・品野・塩野・丸山) 3勝2敗36中
- ④ 郡山 (阿部・辻本・山口・吉原) 2勝3敗35中
- ⑤ 畝傍 (徳田・渡邊・井岡・丸山) 1勝4敗34中
- ⑥ 奈良北 (金谷・佐藤・久保田・池田) 1勝4敗29中

個人の1・2位、団体の1位は3月20～22日に静岡県武道館で行われる全国選抜大会に、個人の1～6位、団体の1～3位(女子は4位まで)は1月18日に橿原公苑第一体育館で行われる近畿選抜大会に出場する。

◆ 第59回 全日本弓道遠的選手権大会

全日弓連中央道場にて10月24～26日に開催された遠的選手権に奈良県からは阪中 計夫、藤岡 順、井上ゆみ子、山口 愉佳子が出場しましたが、惜しくも決勝進出ありませんでした。選手の皆さんお疲れ様でした。

■ 大分国体を振り返って (蔵地 隆文 記)

『チン! あああああ〜』

予鈴の合図とともに会場は大きなため息に包まれた。そしてその瞬間僕の今年の国体は終わった…。

近的1回目9中。悪くはないと思っていたが時間が経つにつれ決勝進出にはすでに崖っぷちの状態になっていた。

張り詰めた緊張と不安をグッところえ僕たちは2回目に臨んだ。

『ガツッ!』1本目僕の放った矢は前にそれたが幸運にも的枠をとらえ内側に食い込んだ。そしてそこから快進撃がはじまる。連続10連中! 不安だった気持ちはいつしか希望へと変わっていた。そして会場がざわめき始めた頃希望は確信へと変わる。『いける!』ミラクルを信じて…。

『チン! あああああ〜』合計19中。決勝進出にあと一步及ばなかった僕たちは悔しい思いを胸に会場を後にした。

今年の国体開催県は大分県。弓道競技は佐伯市で行われました。今年から国体の規模縮小の影響で決勝進出枠が16県から8県になり更に厳しい予選になりました。残念ながら入賞することはできませんでした。

私は今年で国体出場は5度目。まだ一度も入賞したことがありません。しかし国体では普段感じるこのできない緊張感、独特の雰囲気を感じることができ、また国体を通じて精神面や技術面において得られたものも数多くあります。これらを活かし来年こそ入賞したい!と思っています。

最後になりましたがたくさんの応援ありがとうございました。

*たまたま予鈴と落の12本目の弦音が重なっただけで、本鈴の時間切れによる失中ではありません。

◆ 第34回 奈良県中学校弓道新人大会

日時:平成20年11月8日(土)

主管:奈良県中学校体育連盟 会場:橿原公苑弓道場

参加者数:男子80名、女子112名

【近的・団体戦】

▽男子 ①白檀中A(山中、河本、階戸) ②香芝中B(森村、吉田、田中) ③香芝中C(吉見、中西、齋藤)

▽女子 ①香芝中D(宮本、池辺、角谷) ②橿原中A(松本、平元、小松) ③香芝中B(北浦、富永、尾崎)

【近的・個人戦】

▽男子 ①森村 亮太(香芝) ②阿形 尚(八木)

③柴崎 滉仁(橿原)

▽女子 ①平元 美咲(橿原) ②尾崎 史織(香芝)

③宮本 祐理(香芝)

※遠的の部は雨天のため中止となり、近的の部のみの試合で行われました。

歳時記

「十二月」 歳暮

歳暮とか、お中元と云う季節の名が、物を贈る代名詞になっていることは、面白い事です。中元は陰暦七月十五日の節目をいいます。中国より伝来した節目で、他に正月十五日の上元、十月十五日の下元がありますが、現在では盆の行事と混同して中元だけが残っています。

一年を二期に分けて六月と十二月の晦日に神社では大祓いをします。これによって年に二回、前期は中元の日、後期は年の暮れに今でもお世話になった方や、教えをいただいた方にお礼を申し上げる日としていたのが、贈答と結び付いたものと思われまます。

商家では六月、十二月を決算日とし、サラリーマンにもこの時期にボーナスが渡されるなど、色々と関連づけられる事も重なっています。

贈答の「答」をお返しする、返礼すると解釈している人もありますが、そのような意味ではありません。あくまで日頃お世話をいただいたお心に答えてお礼を贈ると言う意味です。

最近では贈答品がデパートなどから託送されてきますが、お礼ですので必ず手紙をつけるか、別便でお礼の意味でお贈り申し上げるの意を記した手紙を送ります。本来は持参すべきものなので、表書きにお中元、お歳暮などと書くことは誤りです。節目の名は品物ではありません。もしデパートなどから託送するのなら、口上の代りにお中元御礼、お歳暮御礼と記せば意味が通じましよう。

表書きは本来、目録のかわりに直接認めるもので、水引を中心にして、上部の方の中央に品名、下部の方の中央に数量を記すべきです。例をあげると、菓子、一折と云う様に書きます。

自分の名前ですが、正しくは、目上の人に差し上げる時は紙を縦に名札を作り、向かって左脇に水引にはさみます。同輩の場合は直接左脇に、水引の下部に記します。連名で贈る場合は、右から順に上位の者から名前を書いていきます。正しく目録に記す場合も同様です。手紙の場合の逆になります。

昔は贈り物には、酒、肴を添える習慣があつて、これが熨斗になったものです。従つて、酒、肴あるいは卵や鶏の贈り物の場合には熨斗は不要です。また、精進の意味から、不祝儀の場合にも熨斗はつけません。水引の結び方は結び切りが正式です。略の形が蝶結び、いわゆる雌結びになります。今日流行のおおげさにかたどった装飾的な結び方は、全くの略式になります

「小笠原流マナー」 著者小笠原清信 グラフ社発行より

中埜大学藤原孝澄(中埜大樹)